

# 日本薬学会北海道支部第130回例会プログラム

とき 5月10日(土) 9:30~16:56

ところ 札幌コンベンションセンター 2F 小ホール

1~5 (9:30~10:30)

座長 有澤光弘(北大院・薬)

- 1) カルボニルイリドの1,3-双極付加環化反応を鍵工程とするプソラコリリフォル類の触媒的不斉合成  
(北大院・薬) ○黒崎泰伸 嶋田修之 穴田仁洋 橋本俊一
- 2) 銅錯体を用いるアルケンの触媒的Ritter型タンデムジアミノ化反応  
(北海道医療大・薬) ○武田浩幸 阿部 匠 山田康司 石倉 稔
- 3) ニッケル触媒によるベンザインとアルケンの[2+2+2]環化付加反応  
(北大院・薬) ○塩谷建吾 齋藤 望 金原 淳 佐藤美洋
- 4) ルテニウム触媒によるアレンとアルキンの新規環化反応の開発  
(北大院・薬) ○田中雄樹 齋藤 望 佐藤美洋
- 5) 5-ホルミル-2'-デオキシウリジンの選択的検出法の開発  
(北大院・薬) ○広瀬 亘 佐藤浩輔 松田 彰

6~9 (10:30~11:18)

座長 和田浩二(北海道薬大)

- 6) Amphidinolactone A の立体化学解明を目指した合成研究  
(北大院・薬) ○萩行正博 石山玄明 小林淳一
- 7) ユズリハ科植物由来の新規アルカロイドCalyciphylline H~Mの構造  
(<sup>1</sup>北大院・薬 <sup>2</sup>東北大院・薬) ○八幡弘子<sup>1</sup> 齊藤静夏<sup>1</sup> 久保田高明<sup>1</sup> 小原祐太郎<sup>2</sup> 中畑則道<sup>2</sup> 小林淳一<sup>1</sup>
- 8) 大麻(Cannabis sativa)のDNA鑑別に関する研究  
(北海道医療大・薬) ○高上馬希重 澤 聡子 浅津なをみ 関崎春雄
- 9) 甘草(カンゾウ)の培養細胞によるトリテルペノイド生成に関する研究 ~毛状根培養について~  
(<sup>1</sup>北海道医療大・薬 <sup>2</sup>横浜市大・木原生物研 <sup>3</sup>理研・PSC <sup>4</sup>基盤研・薬植セ) ○浅津なをみ<sup>1</sup> 高上馬希重<sup>1</sup> 関崎春雄<sup>1</sup> 關 光<sup>2</sup> 村中俊哉<sup>2</sup> 大山 清<sup>3</sup> 齊藤和季<sup>3</sup> 柴田敏郎<sup>4</sup> 林 茂樹<sup>4</sup>

総説講演1 (11:20~11:50)

座長 山田康司(北海道医療大・薬)

「ロジウム(II)アミダート錯体触媒を用いた不斉ヘテロDiels-Alder反応」

(北大院・薬) 穴田仁洋

支部幹事会 (12:00~12:45) 102 (1F)

支部総会 (13:00~13:20) 小ホール (2F)

総説講演2 (13:20~13:50)

座長 吉岡忠夫 (北海道薬大)

「ビタミン及びビタミン様物質の体内動態 -トランスポーターと代謝酵素の重要性-」

(北海道医療大・薬) 小林大祐

10~14 (13:50~14:50)

座長 松本真知子 (北海道医療大・薬)

10) 血管内皮細胞におけるメチルグリオキサールの影響

(北海道薬大) ○大場達也 高橋恭兵 立浪良介 丹保好子

11) アストロサイト形態変化による脳細胞機能変調

(北大院・薬) ○小熊高広 保坂信哉 片山貴博 南 雅文

12) 過酸化水素による細胞傷害およびケモカインMCP-1産生誘導に関する検討

(北大院・薬) ○小松陽介 内田裕之 片山貴博 南 雅文

13) ブタ胎膜由来のコンドロイチン硫酸/デルマトン硫酸の構造と神経突起伸長促進活性の解析

(北大院・先端生命) ○橋口太志 水本秀二 山田修平 菅原一幸

14) ラット門脈平滑筋に対する硫化水素の作用の検討

(北海道医療大・薬) ○大橋敦子 野呂奈々江 木村真一 島村佳一

総説講演3 (14:50~15:20)

座長 武隈 洋 (北大院・薬)

「薬物感受性遺伝子のハプロタイプ情報を用いたSNPs解析 -日本人クローン病患者のステロイド応答性とSLC22A4/5遺伝子多型との関連-」

(北海道薬大) 齊藤嘉津彦

15~18 (15:20~16:08)

座長 浜上 尚也 (北海道医療大・薬)

15) DJ-1によるコレシストキニン遺伝子の転写調節

(<sup>1</sup>北大院・薬 <sup>2</sup>北大院・先端生命 <sup>3</sup>北大院・農) ○鈴木さや香<sup>1</sup> 松本健一<sup>2</sup> 有賀早苗<sup>3</sup> 有賀寛芳<sup>1</sup>

16) DJ-1によるLDL受容体遺伝子の転写調節

(<sup>1</sup>北大院・薬 <sup>2</sup>北大院・先端生命 <sup>3</sup>北大院・農) ○山口志織<sup>1</sup> 松本健一<sup>2</sup> 有賀早苗<sup>3</sup> 有賀寛芳<sup>1</sup>

17) ドパミン再取り込みにおけるDJ-1の役割

(<sup>1</sup>北大院・薬 <sup>2</sup>北大院・農) ○北野希世美<sup>1</sup> 米田 宏<sup>1</sup> 有賀早苗<sup>2</sup> 有賀寛芳<sup>1</sup>

18) 免疫抑制剤FTY720の代謝と血小板からの放出

(北大院・薬) ○山中雅夫 穴田佳大 五十嵐靖之 木原章雄

19～20 (16:08～16:32)

座長 木村 治 (北海道医療大・薬)

19) 北海道医療大学におけるOSCEトライアルの実施と事前教育の効果

(北海道医療大・薬) ○小林道也 千葉 薫 齊藤浩司 唯野貢司 二瓶裕之 和田啓爾 黒澤隆夫

20) フェルラ酸の抗酸化機構および小腸虚血再灌流障害抑制作用に関する薬学的評価

(北大院・薬) ○板垣史郎 黒川俊充 中田千絵 及川 攝 小林正紀 平野 剛 井関 健

21～22 (16:32～16:56)

座長 豊田 栄子 (北海道医療大・薬)

21) オートファジー関連タンパク質Atg10のX線結晶構造解析

(<sup>1</sup>北大院・先端生命 <sup>2</sup>北大院・薬 <sup>3</sup>基礎生物研) ○山口雅也<sup>1</sup> 野田展生<sup>2</sup> 藤岡優子<sup>2</sup> 大隅良典<sup>3</sup> 稲垣冬彦<sup>2</sup>

22) 常磁性ランタノイドプローブ法の開発

(北大院・先端生命) ○齊尾智英 小椋賢治 横地政志 稲垣冬彦

### 日本薬学会北海道支部第130回例会座長一覧

時間	演題番号	氏名	所属
9:30～10:30	一般講演1～5	有澤光弘	北大院・薬
10:30～11:18	一般講演6～9	和田浩二	北海道薬大
11:20～11:50	総説講演1	山田康司	北海道医療大学・薬
13:20～13:50	総説講演2	吉岡忠夫	北海道薬大
13:50～14:50	一般講演10～14	松本真知子	北海道医療大・薬
14:50～15:20	総説講演3	武隈洋	北大院・薬
15:20～16:08	一般講演15～18	浜上尚也	北海道医療大・薬
16:08～16:32	一般講演19～20	木村治	北海道医療大・薬
16:32～16:56	一般講演21～22	豊田栄子	北海道医療大・薬

#### 演者の方へ

- ・ 講演開始の15分前までに「演者受付」で受付して下さい。
- ・ 講演時間は、一般講演10分、討論2分、総説講演25分、討論5分です。時間厳守でお願いします。

#### 座長の方へ

- ・ 講演開始15分前までに「座長受付」までご連絡下さい。